



子どもたち一人一人が笑顔で過ごす学校をめざして



## 5年生が球技大会でがんばりました

12月5日(金) 赤坂小学校(+朝鮮初級学校)と折尾東小学校の5年生の間で、ミニバスケットボール大会が行われました。会場は男子チームが赤坂小学校体育館、女子チームが本校体育館でした。開会式で、5年生の子どもたちに「この大会には3つの意味があります。」と話をしました。

- ① チームで協力してプレイすることの大切さや方法を学んできたこと
- ② それぞれの学校代表として誇りをもち代表らしいプレイをすること
- ③ 中学校で一緒になる人もいます。他の学校の人と仲よくなること

男子も女子も、ミニバスケットボールが得意な子も苦手な子も力いっぱい体を動かしていました。チームで声を出し合い、応援も頑張っていました。学校代表として立派な態度でした。試合が終わった後には、笑顔で握手を交わし、笑顔でお見送りもしました。5年生にとって3つの意味を十分に果たしたとてもよいミニバスケットボール大会になりました。どの学校の5年生もよい6年生になるだろうと思いました。



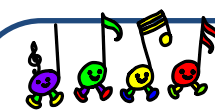
## 礼を正す、親しき仲にも礼儀あり

- 毎朝、8:40分を過ぎたころ、職員室のドアが開き、子ども達の元気な声が聞こえてきます。「失礼します。健康観察簿をもってきました。入ってもいいですか。」「はいどうぞ。ご苦労様。」「失礼しました。」職員室の外側には、カードがはってあって、「職員室に用があるときはこのように言いましょう。・・・」と例が書いてあります。1年生の係の子は、緊張した表情でしっかり言おうとがんばっています。学年が進むにつれて子ども達はすらすらといえるようになってきます。時と場所に応じた言葉を使い分けるようになる事は大切なことです。
- 子ども達とあいさつを交わすとき、それぞれ違ったやり方があります。「おはようございます。」と元気にいう子、恥ずかしそうに言う子、軽く頭を下げる子、深々と頭を下げる子・・・。どれが良い、悪いということではありませんが挨拶を通して子ども達には感謝の気持ちや相手とつながる心地よさを感じてほしいと思います。
- 折尾中学校に「時を守り、場を清め、礼を正す」という言葉が書いてあります。これは、教育学者の森信三氏の言葉です。

【時を守り】とは、「時間を守ること」です。時間を守ることは、自分の気持ちを引き締め、相手を尊重することにつながります。

【場を清め】とは、「掃除をすること」です。掃除をすることで自分の心を磨いたり感謝の心が芽生えたりします。

【礼を正す】とは、「挨拶・返事・服装・姿勢をきちんとすること」です。自分のまわりの人にお世話になっていることを感謝し、誰に対しても礼をつくす気持ちや行動が大切です。挨拶は、心を開いて相手と向かい合うということです。お互い、気持ちがよくなるような挨拶や返事を心がけ人間関係を円滑にしたいものです。服装や姿勢を正すというのも同じです。時と場にふさわしい服装をすることや姿勢を正すことも相手を尊重することになります。



### マリンバコンサートのお知らせ



平成25年2月に折尾東小でマリンバのミニコンサートをしてくださった白井小百合さんが、折尾東市民センターで開かれる「人権市民講座 マリンバコンサートと講話」にお母様と一緒に来てくださいます。あたたかい気持ちになる素敵な音色やお話が楽しみです。たくさんの皆様にご参加いただきたいと思います。よろしくお願いたします。

日時：平成26年12月19日(金) 19:00~20:30

場所：折尾東市民センター 多目的ホール

